

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		ファミリー・サポート・センター事業		事業番号	
				014-022	
担当部署名		子ども青少年	局	子ども青少年育成	部
				子ども育成	
				課	

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
		有	取組	—				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
無	現状値	—	目標値	—				

2	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン				
3	事業開始年度	平成 13 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	児童福祉法、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）実施要綱				

#### 事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	会員登録講習会を受講したファミリー・サポート・センターの登録会員				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	地域における子育てを支えあう体制を拡充することにより、保護者が仕事と育児を両立できる環境を整備する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	子育ての応援を受けたい方（依頼会員）と子育ての応援をしたい方（提供会員）が、相互援助活動を行う。センターは、依頼会員からの依頼内容に応じることができる提供会員を調整して双方に紹介し、双方合意の上、活動が開始される。利用料は1時間につき700円で、依頼会員が提供会員へ直接支払う。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	堺市社会福祉協議会				
10	公民連携・協働事業					

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 活動件数	件	目標値	13,000	13,000	13,000		
		実績値	11,881	8,315			
		達成率	91%	64%			
当該指標を選定した理由		活動件数によって、相互援助活動の実施件数がわかり、地域において子育てを支えあう体制の拡充を計ることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去の実績等を勘案して設定					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 会員登録者数	人	目標値	5,000	5,000	5,000		
		実績値	5,073	4,938			
		達成率	101%	99%			
当該指標を選定した理由		会員数により子育ての応援を受けたい方と応援したい方を把握することで、相互援助活動につなげることができるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		過去の実績等を勘案して設定					

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業番号	014-022
-------	-------------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	17,989	17,989	19,710	18,000	18,000
13 財源内訳	国支出金	6,367	6,733	6,570	6,000
	府支出金	6,367	6,733	6,570	6,000
	市債				
	その他 ( )				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	5,255	4,523	6,570	6,000	6,000
14 人件費 (b)	820	810	820	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	18,809	18,799	20,530	18,820	18,820

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	ファミリー・サポート・センター運営業務	R2	決算	18,000	6,000	R2	決算		
		R3	予算	18,000	6,000	R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
		R3	予算			R3	予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 活動件数	件	11,881	8,315
② 上記①にかかる年間経費	千円	18,779	18,820
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	1,581	2,263
備考 (算出についての説明等)			

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 令和2年度は、例年に比べ活動件数の減少がみられたため、単位あたりの経費が上がった。中でも件数の減少が多かったのは、保育施設等への送迎を行う活動であり、新型コロナウイルス感染症の影響で、保育施設・小学校・習い事等が休止となったり、テレワークが推進されたりしたことが理由と考えられる。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 新型コロナウイルス感染症の影響で活動件数は減少したが、子育ての応援を希望する依頼会員数は前年度と変わらず、依然として保護者が仕事と育児を両立できる環境を求めており、事業のニーズがあることが認められる。  
地域における子育てを支えあう体制の拡充により、保護者が仕事と育児を両立できる環境の整備につながった。